

東大井林町会防災論

副会長 松井 一雄

6月の大阪地震、7月は西日本豪雨による土砂災害で私たちは大きな衝撃を受けました。日本は災害列島、東京も大震災が懸念されており、どの町会でも防災は大きな課題と思います。

我が町会でも十分とは言えませんが、その取り組みの一部を紹介いたします。

(1) 意識の高揚…町会行事は全て防災や震災時の対応に結び付くと考えます。

5月の子どもまつりは、まず起震車体験から始めました。怖がる子どもには『今度は乗ろうね』と一言伝えてから、ヨーヨー釣りなどの楽しいイベントに参加してもらいました。区民まつり盆踊り大会では、町

会の方々が集まり楽しく歓談することで互いの理解が深まります。飲食を共にすることも防災につながる意義ある活動であるとお伝えしています。

(2) 避難所の環境…立会小学校の避難所は海拔15メートル程の高台です。一次的な津波の心配は少ない代わりに想定を超える帰宅困難者が集まる心配があります。避難所では継続して備蓄品倉庫の担当をしています。町会のリーダーは物品の管理・配布の方法を共通理解しています。また、区から備蓄品更新の情報は随時入り、対応しています。担当する部署の専門性は必要と考えています。

皆さんのご意見をお聞かせください。



第22回立会川・勝島運河環境美化運動

平成9年にスタートしたこの運動は、国土交通省が制定した7月7日の川の日にあわせて、立会川・勝島運河周辺で毎年実施されています。7月5日(水)当日は、あいにくのくもり空でとても蒸し暑い日でしたが、約250名の方が参加しました。

「魚がすめるきれいな立会川にしたい」



立会川の清掃の様子

という、地域の皆さんの強い願いから開始されたこの活動に、今回は、大井第一町会連合会をはじめ4商店街、NPO法人しながわ花海道、鮫浜小学校・浜川小学校、すまいるスクール鮫浜・すまいるスクール浜川、水神児童センター、大井警察署、大井消防署、東京都(建設局・下水道局)、品川区が参加しました。参加

者は、勝島運河班と立会川班に分かれ「川をきれいにしましょう」、「歩きたばこはやめましょう」など呼びかけながら、沿道の清掃活動を行いました。



勝島運河周辺の様子

清掃活動の後には、北浜川児童遊園で環境美化啓発イベントが行われ、子どもたちは七夕の短冊を笹に飾り、区オリジナルキャラクターのカップくんと記念撮影をして楽しみました。立会川・勝島運河のきれいな



カップくんと記念撮影

環境を保つためにこれからも美化活動を続けていきたいと思います。